

## エネルギー・資源（第16巻）総目次

Vol. 16 No. 1～6（平成7年1月～12月）奇数月5日刊行

・分類は下記によった。

- |              |          |             |             |
|--------------|----------|-------------|-------------|
| (1) 巻頭言      | (2) 座談会  | (3) 技術賞内容紹介 | (4) 論説      |
| (5) 展望・解説    | (6) 特集   | (7) シリーズ特集  | (8) 研究論文    |
| (9) 技術報告     | (10) 見聞記 | (11) 書評     | (12) グループ紹介 |
| (13) 技術・行政情報 | (14) 談話室 |             |             |

## (1) 巻頭言

(題名)	(所属)	(執筆者)	(頁数)
新しい年を迎えて……………	エネルギー・資源学会会長、東京電力㈱最高顧問	三井恒夫	Vol. 16 No.1-1

## (2) 新春座談会

これからのエネルギー・環境政策……………	東京大学教授	茅陽一	Vol. 16 No.1-4
	東京電力㈱理事	小林料	
	㈱農林中金総合研究所 理事長	清水汪	
	㈱住環境計画研究所 代表取締役	中上英俊	
	(司会) 東京大学教授	吉田邦夫	

## (3) 技術賞内容紹介

## 住宅用太陽光発電システム

……シャープ㈱電子部品事業本部太陽電池事業部事業部長	鈴木皓夫	Vol. 16 No.4-1	
” ” ” ” 技術部主査	竹岡貞哉		
” ” 太陽電池事業HBプロジェクトチーム係長	浅井正人		
” ” ” ” ”	岡本光央		
” ” ” ” ” 信頼性管理センター副参事	清田吉春		
焼却灰リサイクルレンガ製造技術の開発……………	中外炉工業㈱環境事業部部長	高橋史郎	Vol. 16 No.4-9
	” ” 課長	谷口和樹	
	” ” ”	浅田信二	
	” ” 係長	赤松健	

## (4) 論説

省エネルギーの本質……………	芝浦工業大学教授	平田賢	Vol. 16 No.1-16
エネルギー産業の規制緩和 —電力産業を中心として—			
……(財)電力中央研究所 経済社会研究所 上席研究主幹	矢島正之	Vol. 16 No.1-20	
環境保全の政策手段と対応コスト —IPCC WG3の議論を踏まえて—			
……慶応義塾大学商学部長・教授	黒田昌裕	Vol. 16 No.2-1	
これからの日本経済を考える……………	総合研究開発機構 (NIRA) 理事長	星野進保	Vol. 16 No.3-1
気候変動枠組条約 第1回締約国会議について			
……通商産業省 環境立地局地球環境対策室長	内山俊一	Vol. 16 No.4-15	

世界エネルギー会議東京大会開催に際して

…(財)世界エネルギー会議東京大会組織委員会 専務理事・事務局長 横 堀 恵 一 Vol. 16 No.5—1  
わが国の第三者検査機構とその国際整合化

……………大阪大学名誉教授・第三者検査機構研究会会長 石 谷 清 幹 Vol. 16 No.6—1  
国際的標準化活動における若干の問題

……………東京大学工学系研究科情報基礎工学教授 久 米 均 Vol. 16 No.6—7

(5) 展 望 ・ 解 説

我が国のエネルギー政策について……………資源エネルギー庁長官官房審議官 並 木 徹 Vol. 16 No.1—25  
エネルギー分野の単位系……………電子技術総合研究所 主任研究官 野 崎 健 Vol. 16 No.1—31

21世紀のエネルギー：トリウムサイクル

……………京都大学工学研究科原子核工学専攻 教授 木 村 逸 郎 Vol. 16 No.2—10

資源連関分析 —資源多消費社会の分析をめざして—

……………専修大学経営学部教授 斎 藤 雄 志 Vol. 16 No.2—17

二酸化炭素排出削減のためのエネルギー・技術選択

—OECD/IEA/ETSAP付属IV研究の成果から—

…日本原子力研究所 高温工学部エネルギーシステム評価研究室室長 安 川 茂 Vol. 16 No.3—6

” ” ” 主任研究員 佐 藤 治

” ” ” 研究員 田 所 啓 弘

” ” ” 研究員 本 地 章 夫

” ” ” 課長代理 梶 山 武 義

熱拡散効果を利用したメタンのカップリング反応

……………千葉工業大学工学部工業化学科教授 山 口 達 明 Vol. 16 No.3—16

石油公団 石油開発技術センター開発技術研究室室長代理 鈴 木 信 市

原子燃料サイクルとその課題……………日本原燃(株)代表取締役副社長 佐々木 史 郎 Vol. 16 No.4—19

中国で見た「日本と中国」……………三菱重工業(株)社長室顧問, 元駐中国大使 中 江 要 介 Vol. 16 No.4—27

化学プロセス用オープンサイクル型ヒートポンプシステムについて

……………川崎技術士事務所 所長 川 崎 成 武 Vol. 16 No.5—5

淡水生シダ植物・アゾラの収集, 順化および資源化

……………大阪府立大学付属研究所助教授 汐 見 信 行 Vol. 16 No.6—9

” 講師 鬼 頭 俊 而

(6) 特 集

[特 集] 未来展望 (随想)

新しき明日が永遠に来るように —農業の持つ力を信じて—

……………東北農業試験場 伊 澤 敏 彦 Vol. 16 No.1—38

これからのエネルギー……………東京電力(株) 伊 藤 文 夫 Vol. 16 No.1—40

バイオマス……………資源環境技術総合研究所 小 木 知 子 Vol. 16 No.1—42

エネルギー・資源学会事情 —15年が過ぎて, 今—

……………エネルギー・資源学会 川 上 佳 寿 子 Vol. 16 No.1—45

食糧と土壌……………京都大学名誉教授 久 馬 一 剛 Vol. 16 No.1—47

未来都市「エコ・エネルギー都市」を目指して

……………物質工学工業技術研究所 佐 藤 眞 士 Vol. 16 No.1—49

## 今後のエネルギー・資源政策の課題について

- ……………カリフォルニア大学ロサンゼルス校 榊原 磨理子 Vol. 16 No.1—52
- 建築におけるエネルギー消費の実態と未来……………三重大学 相良 和伸 Vol. 16 No.1—54
- エネルギー資源と地球環境……………地球化学研究協会 猿橋 勝子 Vol. 16 No.1—57
- 政策決定ゲームに参加して — 特に環境・資源問題を中心として—  
……………神戸大学 庄司 浩一 Vol. 16 No.1—59
- 通産省のエネルギー開発への取り込み —太陽光発電を中心に—  
……………ニューサンシャイン計画推進本部 杉上 孝二 Vol. 16 No.1—61
- 21世紀における石炭の高効率利用を目指して……………ペンシルバニア州立大学 宋 春山 Vol. 16 No.1—63
- 大気環境について考える……………学位授与機構 田中 郁三 Vol. 16 No.1—65
- 今、私たちに出来る事 —エネルギー確保の為に—  
……………(財)原子力発電技術機構 手塚 広子 Vol. 16 No.1—67
- 自然が好きでない人間の自然保護論……………東京大学 中西 準子 Vol. 16 No.1—69
- エネルギー文明開化の思い出と今後のエネルギー材料開発……………(株)東芝 中橋 昌子 Vol. 16 No.1—71
- 不確実性下の選択問題へ向けて……………(財)電力中央研究所 長野 浩司 Vol. 16 No.1—73
- 水力エネルギーへの期待……………東北大学 西澤 潤一 Vol. 16 No.1—75
- 深海底鉱物資源の開発時期はいつか……………京都大学 八田 夏夫 Vol. 16 No.1—77
- 果たせるか?クリーンエネルギー革命……………大阪大学 浜川 圭弘 Vol. 16 No.1—79
- ミクロな視点から見たCO<sub>2</sub>の海洋処理……………東京工業大学 平井 秀一郎 Vol. 16 No.1—81
- 建築における省エネルギーの一つの方向……………(株)日建設計 牧 英二 Vol. 16 No.1—84
- エネルギーと環境問題で思うこと……………三菱石油(株) 松枝 正門 Vol. 16 No.1—86
- 地熱資源の使いみち……………地質調査所 水垣 桂子 Vol. 16 No.1—88
- エネルギー・燃焼・大気汚染に関する環太平洋協議会 (PARCON)  
……………大阪大学 水谷 幸夫 Vol. 16 No.1—90
- 地球への太陽入射光量の制御……………三菱電機(株) 光田 憲朗 Vol. 16 No.1—92
- 一次地金の再生を目指す省エネルギー・環境調和型アルミリサイクル  
……………(財)大阪科学技術センター 村上 陽太郎 Vol. 16 No.1—94
- エコテクノロジーに必要なもの……………資源環境技術総合研究所 四元 弘毅 Vol. 16 No.1—96
- 自然エネルギーの利用……………慶應義塾大学 米沢 富美子 Vol. 16 No.1—98
- 電力機器の超電導化……………(株)東芝 米田 えり子 Vol. 16 No.1—100
- 地球環境問題—自然科学と政治の融合……………三菱化学生命科学研究所 米本 昌平 Vol. 16 No.1—103
- 【特集】水熱反応による有機廃棄物の資源化処置
- (1)水熱反応を利用した有機廃棄物の資源化処置—その処置づけと特徴—  
……………東北大学工学部資源工学科教授 榎本 兵治 Vol. 16 No.2—23
- (2)塩化ビニリデン—塩化ビニル共重合体の液相酸化法によるケミカルリサイクリング  
……………東北大学工学部分子化学工学科助手 吉岡 敏明 Vol. 16 No.2—27  
ミノルタ(株)高槻研究所 古川 慶一  
東北大学反応化学研究所教授 佐藤 次雄  
東北大学工学部分子化学工学科教授 奥脇 昭嗣
- (3)加硫ゴム廃棄物の資源化……………西川ゴム工業(株)開発部 天王 俊成 Vol. 16 No.2—32
- (4)バイオマスの廃棄物の資源化……………東北大学工学部生物化学工学科教授 新井 邦夫 Vol. 16 No.2—37
- (5)下水汚泥の資源化処理  
……………工業技術院 資源環境技術総合研究所 温暖化物質循環制御部長 横山 伸也 Vol. 16 No.2—43  
……………オルガノ(株)総合研究所CSWOチーム長 鈴木 明

## (6)有害廃棄物の水熱分解処理

……………高知大学理学部教授・付属水熱化学実験所長 山 崎 仲 道 Vol. 16 No. 2 —49

## 〔特集〕環境監査

(1)環境監査の理念と目的……………環境資源科学研究所 所長 池 田 豊 Vol. 16 No. 3 —26

(2)環境管理・監査の国際標準化……………(財)日本規格協会 参与 寺 田 博 Vol. 16 No. 3 —31

## (3)欧米における環境監査の動向

……………豊橋技術科学大学工学部エコロジー工学系教授 大 竹 一 友 Vol. 16 No. 3 —38

## (4)環境管理・監査と日本企業の対応

……………(株)日本環境認証機構 代表取締役専務取締役 福 島 哲 郎 Vol. 16 No. 3 —43

(5)ライフサイクル分析……………東京大学工学部地球システム工学科教授 石 谷 久 Vol. 16 No. 3 —50

(6)環境配慮型経営を目指して……………シャープ(株)東京支社環境推進部部长 佐 藤 勝 年 Vol. 16 No. 3 —56

## 〔特集〕熱電変換—エネルギー基幹技術への脱皮を目指して—

## (1)熱電材料の新展開…通産省工業技術院電子技術総合研究所

エネルギー部環境エネルギー研究室主任研究官 太 田 敏 隆 Vol. 16 No. 4 —35

## (2)熱電発電技術の何処が問題か

……………東京工業大学工学部機械科学科教授 越 後 亮 三 Vol. 16 No. 4 —42

## (3)熱電冷却システムのブレークスルー

……………北海道大学工学部電子工学科教授 小 川 吉 彦 Vol. 16 No. 4 —48

## (4)傾斜構造形成による高効率熱電エネルギー変換材料

……………金属材料技術研究所 機能特性研究部第5研究室室長 西 田 勲 夫 Vol. 16 No. 4 —54

## (5)磁場中の熱電発電—核融合研究における熱電変換—

……………文部省 核融合科学研究所 プラズマ制御研究系助教授 山 口 作 太 郎 Vol. 16 No. 4 —58

## (6)熱電モジュール製造技術の革新とコスト低減

……………コマツエレクトロニクス(株)技術部素子グループ担当部長 木 林 靖 忠 Vol. 16 No. 4 —64

(7)熱電変換応用技術の未来像……………湘南工科大学工学部電気工学科教授 梶 川 武 信 Vol. 16 No. 4 —68

## 〔特集〕フロン対策

## (1)総論—各種規制, 代替フロンの種類, 実用化へのプロセス—

……………ダイキン工業(株)機械技術研究所主任研究員 泉 谷 直 昭 Vol. 16 No. 5 —12

## (2)代替フロンの用途別実用化状況

## a) カーエアコンにおけるフロン規制対応

……………日本電装(株)冷暖房開発部部长 藤 原 健 一 Vol. 16 No. 5 —20

b) 家庭用電気冷蔵庫……………松下冷機(株)冷蔵庫事業部技術部開発担当参事 灘 勝 彦 Vol. 16 No. 5 —25

## c) 家庭用・業務用空調機の代替フロン技術の開発状況

……………(株)東芝 住空間システム技術研究所開発第一担当主幹 佐 野 哲 夫 Vol. 16 No. 5 —31

## (3)代替冷媒用冷凍機油の開発について

……………出光興産(株)潤滑油部潤滑技術二課チーフエンジニア 高 木 実 Vol. 16 No. 5 —37

## (4)ヘテロ原子をフッ素系のフロン代替物の開発

……………通商産業省工業技術院 物質工学工業技術研究所

有機合成化学部フッ素化学研究室研究室長 関 屋 章 Vol. 16 No. 5 —45

(財)地球環境産業技術研究機構 新世代冷媒プロジェクト室長 三 崎 進

## 〔特集〕エネルギーと社会的リスク

## (1)エネルギーシステムのリスク評価

……………(財)電力中央研究所 経済社会研究所

エネルギーシステムグループリーダー研究主幹 谷 口 武 俊 Vol. 16 No. 6 —16

## (2)地球温暖化問題における損害コスト評価および費用便益分析について

……………(財)電力中央研究所 経済社会研究所

エネルギーシステムグループ担当研究員 杉 山 大 志 Vol. 16 No.6—23

” ” ” 主査研究員 長 野 浩 司

## (3)アジアにおける環境リスクマネジメント

……………東京大学先端科学技術研究センター博士課程 明日香 壽 川 Vol. 16 No.6—30

## (4)自然災害と人工災害のリスク比較

……………(財)電力中央研究所 経済社会研究所技術評価グループリーダー 内 山 洋 司 Vol. 16 No.6—36

(財)政策科学研究所 研究員 林 部 尚

## (5)事故リスクと安全評価

……………(株)三菱総合研究所 総合安全研究センター安全工学第一室長 高 橋 英 明 Vol. 16 No.6—41

## (6)リスク・コミュニケーション：リスク研究への社会科学的アプローチ

……………慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程 浅 見 政 江 Vol. 16 No.6—47

## (7) シ リ ーズ 特 集

## 明日を支える資源 (54)

フィリピンの最近の鉱業事情……………金属鉱業事業団 マニラ海外駐在員 鈴 木 哲 夫 Vol. 16 No.2—57

## 明日を支える資源 (55)

アンチモン資源の現状と将来……………日本精鉱(株)中瀬製錬所取締役所長 二 村 芳 甫 Vol. 16 No.3—62

## 明日を支える資源 (56)

モンゴル国の資源の現状と将来……………東方科学技術協力会 副会長 佐 野 初 雄 Vol. 16 No.4—77

## 明日を支える資源 (57)

バナジウム資源の将来—製造と利用 ………………元東北大学教授 須 藤 欽 吾 Vol. 16 No.5—52

## 明日を支える資源 (58)

インドの金属鉱物資源の現状と将来……………名城大学都市情報学部教授 若 松 貴 英 Vol. 16 No.6—54

Senior Researcher, Tata Research, Development & Design Center Dr. Pradip

## (8) 研 究 論 文

## コジェネ分散型電源導入に与えるエネルギー効率の影響

……………東京大学大学院電気工学専攻博士課程 秋 澤 淳 Vol. 16 No.2—65

” 地球環境工学講座助教授 浅 野 浩 志

” 工学部電気工学科教授 茅 陽 一

## 地球間電力ネットワークを考慮した都市エネルギーシステムのモデル化とその適用

……………(株)東芝 技術情報システム部 岡 本 賢 司 Vol. 16 No.2—72

東京理科大学理工学部経営工学科教授 森 俊 介

## 業務用蓄熱式空調システムの普及と夏季最大電力需要への影響の分析

……………東京電力(株)開発計画部副主任 前 田 章 Vol. 16 No.2—81

” ” 副長 鈴 木 建 哉

” ” 課長 長 尾 英 二

日本の輸出入に伴うCO<sub>2</sub>量の経時的分析

……………国立環境研究所 社会環境システム部環境計画研究室研究員 近 藤 美 則 Vol. 16 No.3—68

” 地球環境研究グループ

交通公害防止研究チーム主任研究員 森 口 祐 一

” ” ” 総合研究官 清 水 浩

## ガスパイプラインのシミュレーション方式漏洩検知技術

……NKK エンジニアリング研究所	吉田雅裕	Vol. 16	Na. 3—76
” ”	山口以昌		
” ”	佐藤律夫		

## 熱電モジュール用膜形状熱電材料の開発

……松下電器産業㈱研究本部

環境エネルギー研究所エコエネルギーグループ研究員	中桐康司	Vol. 16	Na. 4—84
” ” ” 主任研究員	行天久朗		
” ” ” 主任研究員	山本義明		

## 産業連関表を用いた太陽光発電システムのエネルギーベイバックタイムの見積り

……工業技術院機械技術研究所 物理情報部数理工学研究室主任研究官	野村昇	Vol. 16	Na. 5—57
” ” ” ” ”	赤井誠		
資源環境技術総合研究所 エネルギー資源部燃料物性研究室室長	稲葉敦		
東京大学工学部地球環境工学講座教授	山田興一		
東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻教授	小宮山宏		

## 太陽光発電システムのライフサイクルアセスメント

……資源環境技術総合研究所 エネルギー資源部燃料物性研究室室長	稲葉敦	Vol. 16	Na. 5—65
” ” ” 研究官	近藤康彦		
” ” ” ガス化研究室	小林光雄		
東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻	喜多浩之		
” ” ” ” ”	高橋伸英		
” ” ” ” ”	野田優		
” ” ” ” ”	松本真太郎		
” ” ” ” ”	森田英基		
” ” ” ” 教授	小宮山宏		

太陽光発電システムの導入によるCO<sub>2</sub>排出削減効果

……資源環境技術総合研究所 エネルギー資源部燃料物性研究室室長	稲葉敦	Vol. 16	Na. 5—72
他 同 上			

## 家計のエネルギー支出の特性について

……国立環境研究所 社会環境システム部主任研究員	青柳みどり	Vol. 16	Na. 6—59
” 地域環境研究グループ主任研究員	森口祐一		
” ” 研究員	近藤美則		
” ” 総合研究官	清水浩		

## 運輸部門の省エネルギー型都市構造に対する2つのモデルによるアプローチ

……東京農工大学工学部機械システム工学科講師	秋澤淳	Vol. 16	Na. 6—68
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授	茅陽一		

## (9) 技術報告

## コバルトクラストからコバルト、ニッケルおよび銅を回収するプロセスの開発

……資源環境技術総合研究所 主任研究官	六川暢了	Vol. 16	Na. 1—105
---------------------	------	---------	-----------

## 超電導発電機の研究開発と実証試験計画

……超電導発電関連機器・材料技術研究組合試験センター建設所所長	香山博司	Vol. 16	Na. 2—90
” ” システム部システム課長	柿花邦彦		

## 火炎の新しい分類とケミカルガスタービン構想

- ……………名古屋大学高温エネルギー変換研究センター教授 新井紀男 Vol. 16 No.6—74  
 “ “ “ “ 助手 小林敬幸

## (10) 見聞記

## 1994年度 International Joint Power Generation Conference に参加して

- ……………(株)東芝 火力制御システム技術部 舟城純子 Vol. 16 No.1—110  
 「R22, R502代替冷媒国際シンポジウム'94」に参加して  
 ……ダイキン工業(株)汎用空調生産本部部長 樽谷勇 Vol. 16 No.2—99  
 活気づくアメリカの燃料電池開発 (1994 U. S Fuel Cell Seminar に参加して)  
 ……燃料電池開発情報センター事務局長 穴原良司 Vol. 16 No.3—83  
 第2回クウェート石油精製および石油化学工業触媒作用国際会議に出席して  
 ……大阪大学工学部応用自然科学科分子化学専攻教授 野村正勝 Vol. 16 No.5—78  
 第14回熱電国際会議に参加して  
 ……東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻助教授 堤敦司 Vol. 16 No.6—82

## (11) 書評

## 「太陽エネルギーへの挑戦—太陽電池の時代がやってきた—」

- ……………大阪市立工業研究所 研究主任 小山清 Vol. 16 No.1—113  
 「乗客の書いた交通論—永続的な交通を求めて」  
 ……京都大学大学院環境地球工学専攻 教授 中村泰人 Vol. 16 No.2—103  
 「建設副産物・廃棄物のリサイクル」……………専修大学経営学部教授 斎藤雄志 Vol. 16 No.3—88  
 「エネルギー基礎学—地球環境時代のエネルギー利用技術—」  
 ……大阪市立工業研究所 工業化学課研究副主幹 小山清 Vol. 16 No.4—92  
 「環境保全と資源開発利用システム」  
 ……龍谷大学理工学部機械システム工学科教授 中西重康 Vol. 16 No.5—82  
 「グローバルエネルギー戦略—地球環境時代の21世紀シナリオ—」  
 ……(株)電力中央研究所 経済社会研究所  
 エネルギーシステムグループ主査研究員 長野浩司 Vol. 16 No.5—83  
 「鉱物資源データブック」……………名城大学都市情報学部教授 若松貴英 Vol. 16 No.6—85

## (12) グループ紹介

- 財団法人 石炭利用総合センター……………秋元嗣男 Vol. 16 No.1—114  
 東光精機株式会社……………計装事業部副事業部長 末定泰彦 Vol. 16 No.2—104  
 株式会社掘場製作所……………広報室 神馬哲也 Vol. 16 No.3—90  
 北海道大学 エネルギー先端工学研究センター……………前センター長・教授 真田雄三 Vol. 16 No.4—93  
 株式会社浅沼組 技術研究所……………技術研究所企画管理室長 若木俊男 Vol. 16 No.5—85  
 住友シチックス株式会社……………技術部部长 白井龍夫 Vol. 16 No.6—87

## (13) 技術・行政情報

## エネルギーと災害 —発電システムによるリスクの大きさ—

- ……………(株)電力中央研究所 経済社会研究所技術評価グループリーダー 内山洋司 Vol. 16 No.1—115  
 ………日刊工業新聞社 編集局 兼子宗也 Vol. 16 No.2—105

## 平成7年度通商産業省技術開発関連施策の重点

……………大阪工業技術研究所 エネルギー変換材料部長 石川 博 Vol. 16 No.3—91

## 米国の環境規則緩和論議

……………マサチューセッツ工科大学国際問題研究センター主任研究員 鈴木 達治郎 Vol. 16 No.4—95

## アジア地域における原子力発電

……………(財)電力中央研究所 経済社会研究所技術評価グループリーダー 内山 洋司 Vol. 16 No.5—87

……………日刊工業新聞社 記者 兼子 宗也 Vol. 16 No.6—88

## (14) 談 話 室

「低公害車」に想う……………技術士 多田 正 Vol. 16 No.2—107

平成7年兵庫県南部地震について思うこと—我々の文明の選択は間違っていないか—

……………京都大学工学研究科教授 柴田 俊忍 Vol. 16 No.4—93

技術の融合—エネルギー・資源学会の理念— ………………日立造船(株)顧問 永井 将 Vol. 16 No.4—97

太陽光励起レーザー—太陽エネルギーの新しい利用法—

……………東北大学大学院工学研究科機械知能工学専攻教授 嵐 治夫 Vol. 16 No.5—90

人間社会の「アポトーシス」

……………新日本製鐵(株)技術開発本部プロセス研究センター主幹研究員 森 寺 弘 充 Vol. 16 No.6—89

## 共催行事ごあんない

## 第34回原子力総合シンポジウム 開 催 に つ い て

と き 1996年2月14日(水) 10:00~16:45

と ころ 学士会館本館(202会議室, 210会議室)

(東京都千代田区神田錦町3-28, ☎03-3292-5931)

**開催趣旨** 原子力関連39学協会の共同主催により、21世紀を前にますます広領域化しつつある原子力研究関連の各専門分野の研究者—技術者間および学界—産業界間の知識と情報の交換・普及を図ると共に、単に専門家に対してのみならず、一般社会に対しても、原子力研究の現状、展望を含め、原子力界が直面している問題点を提示し、理解することを目的とする。

**予稿集** 1月下旬に作成し、実費頒布する(予価 2,000円 ㊦270円)

**参加費** 共催学協会会員 2,000円, 学生 1,000円  
非会員 3,000円(当日受付)

**運 営** 「原子力総合シンポジウム」運営委員会事務局

〒105 東京都港区新橋1-1-13(東新ビル6階)

(社)日本原子力学会内 TEL 03-3508-1261, FAX 03-3581-6128